1-07-01-20_鋳物師関係等文書(竹中伸行氏寄贈)目録 260116(8件8点)

No.	表題(名称)	年代	西暦	差出(作成者)	宛所	形態	寸法 (縦×横.cm)	数量	備　　考
1	書状写(加賀国開発村鋳物師諸役につき)	11月24日		前田対馬守長種判	大炊大納言 (大炊御門経頼ヵ)	折紙	32.1×44.6	1	端裏付箋「大炊大納言様御状写」。 加賀国開発村は現石川県能美市辰口町。 前田長種(1550～1631)は加賀藩年寄加賀八家の対馬守家の祖。利家の長女幸の夫。 大炊大納言は大炊御門経頼(1555～1617)か。 ※包紙(墨書「謹写　三通」)あり(他はNo.6も在中していたか)
2	書状(金屋町の者共指越、新用水横田村田地中堀廻しにつき)	(寛文4～12年頃)4月8日	(1664～72年頃)	御算用場(黒印「大笙草／生口行」)	上村八左衛門、 有沢孫作(俊澄)	切紙	16.9×53.2	1	宛所2人は高岡町奉行。就任年代は上村は1660年3月～1676年12月)、有沢は1664年10月～1672年。重複年代は1664年10月～1672年
3	鋳物師職座法之掟(写)	天明元年6月	1781	佐渡守斎部量弘(朱印「量弘」) (真継量弘)	越中射水郡高岡 鋳物師惣中	継紙	34.1×131.6	1	宿紙。文中3ヶ所に朱墨で印の枠線(中に「御請印」)と末尾の年代の前に朱印「由緒正印」あり。 原本は天正4年(1576)8月13日「御蔵宗弘判」。宗弘(久直の子。石見守。早世)は真継家18(2)代(2代は鋳物師支配を開始した久直を初代とした代数。／(『王権と社会　ー朝廷官人・真継家文書の世界ー』名古屋大学附属図書館　2007年春季特別展図録)。 量弘(ｶｽﾞﾋﾛ/1760～83)は真継家26(11)代。親弘の子。右衛門少尉。佐渡守。 翻刻は『高岡鋳物師物語』(高岡鋳物師文書研究会編、1988年)p133～134
4	書状(八朔に献上御灯籠御会符拝借し金屋中守護として写し残したき願御免につき)	享和2年8月	1802	朱印「御蔵／真継」 (真継康寧)	越中高岡 鋳物師中	切紙	32.8×46.3	1	裏付箋「享和二年八月御会符」(会符(ｴﾌ)は江戸時代に朝廷・幕府・公家・武家・寺社などが物資を輸送するにあたって、当該荷物の所属の明示のために付けられた荷札)。 真継康寧(ﾔｽﾉﾘ/1770～1827)は真継家27(12)代。量弘(ｶｽﾞﾋﾛ)の養子。一条家諸大夫森沢阿波守藤原長養次男。能登守・美濃守。(『王権と社会　ー朝廷官人・真継家文書の世界ー』名古屋大学附属図書館　2007年春季特別展図録)
5	鋳物師職許状	安政2年11月	1855	大和守斎部宿祢(朱印「則能」／花押) (真継則能)	越中国射水郡高岡金屋町 鋳物師 金森九兵衛	竪紙	33.9×51.9	1	宿紙。端に朱印「御蔵真継」。 真継則能(ﾉﾘﾖｼ/1810～50)は真継家28(13)代。石見守、能登守。(『王権と社会　ー朝廷官人・真継家文書の世界ー』名古屋大学附属図書館　2007年春季特別展図録)

6	前田光高高札写			光高卿 御判 (前田光高)	分国中 鋳物師所	竪紙	32.4×44.5	1	前田光高(1616～45)は加賀前田家4代当主。1639年家督相続。 内容は①諸役免除、②座法先規の旨、③山林竹木伐取の三ヶ条。 左上に真継家家司・井上平兵衛直之の慶応2年(1866)9月の改め覚(割印あり)が貼付。 翻刻は『高岡鋳物師物語』(高岡鋳物師文書研究会編、1988年)p137(本文のみ同文)
7	書状(常福寺と寺号御免、絵表未だ出来申さずにつき催促状)	7月2日		下少進法印(花押) (下間仲孝ヵ)	越中稲積村正西　門徒衆中	継紙	17.4×104.9	1	下間少進法印は仲孝か。仲孝(1551～1616)は本願寺の坊官。仲孝の他、仲之、頼之、仲康ともいい、法名は性乗、能の芸名は素周。能楽金春流の上手。31歳頃(1582年頃)に法印に昇進した。 常福寺(浄土真宗本願寺派)は氷見市稲積3095に所在
8	書状(御尋ねの中納言御気分よく、葛巻蔵人へ紺御服等拝領等につき)	(寛永11～正保2年頃)10月12日	(1634～45年頃)	松筑前光高(花押) (前田光高)	松平飛騨守(前田利治ヵ)	折紙	40.0×56.1	1	スレ激しく宛所判読困難)。 前田光高(1616～45)は加賀前田家4代当主。1639年家督相続。 中納言は前田利常(1594～1658)。加賀前田家3代当主。権中納言叙任は1626年8月19日。 松平飛騨守は前田利治(1618～60)カ。利常3男、光高弟。大聖寺藩初代藩主。1634年、飛騨守。 葛巻(ｶﾂﾞﾗﾏｷ)蔵人(1599～1661)は重俊。実勝とも。昌俊の嫡男。1612年利常に仕官。1639年、父の退老の際にその知行4,000石を合わせ5,150石となる。